



医療法人徳洲会 庄内余目病院
和島 里緒さん

「生きる力を支えます。
やりがいのある仕事です。」

内科病棟に勤務しています。主に患者様の入院時のケアを担当しています。受け持

今はどんな仕事をされていますか？

和島さんは庄内町余目出身の23歳。酒田市立酒田看護専門学校を卒業後、看護師国家試験に合格し、庄内余目病院に就職。患者に寄り添う温かい笑顔と心優しい対応が評判の看護師さんです。

— 庄内余目病院さんに就職した理由は何ですか？ —

就職活動中に調べたので

っている患者様が5〜6人なので、出勤したら今日の体調や状態を前の勤務職員から引き継ぎ、血圧や熱を測ります。点滴投与、たん吸引、清拭や着替え、食事介助、口腔ケアなどを行っています。患者様の状態に変化があれば、医師に的確に報告しています。



— 仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？ —
入院されてきた患者様が治療を受けて状態が安定し、住

— 地元で看護師を目指すみなさんに一言お願いします。 —

— 看護学校を卒業してすぐに現場で働くことに戸惑いはありませんでしたか？ —
正直初めは戸惑いがありました。しかし、当院の特徴のプリセプター制度といって、新人職員に年齢が近い先輩職員がマンツーマンでついてサポートしてくれる仕組みがあります。年齢が近い先輩なので話しやすいですし、悩みごとや困ったことがあればすぐに相談できて安心でした。たまに愚痴も聞いてくれました（笑）。

DATA



庄内余目病院
松陽1-1-1

1991年8月に開院し、庄内地方の地域に根ざした医療を提供する総合病院。職員数は400人を超える。一つの病院で急性期から回復期、慢性期まで患者さんの病態に合った医療提供が特徴。2023年に小児科を新たに開設し、Web予約も導入。現敷地南側に新病院の新築移転を計画している。

— 地元で就職して良かったことはどんな点ですか？ —
自宅から病院までの通勤時間が短いので、出勤前の時間には余裕があつて気が楽です。特に、冬場は車に積もった雪を除ける時間よりも、徒歩で通勤する方が速いので（笑）。

地元には多くの職場があります。いろいろな職場を見学して、なるべく自分に合った職場を見つけられるといいですね。自分のペースで活動することが大事だと思います。

生きていく場所を探すのか

庄内町で働く。

— 地元で生きる若者に密着 —



なぜ人は働く場所を選ぶ

若者の地元離れが続く一方で、庄内町に就職し、地元で暮らす若者は大勢います。地域に欠かすことのできない医療・介護・産業を支え、仕事に汗を流し、住民の幸せと笑顔を作る若者の姿は、挑戦と喜びに満ちています。失敗や悩みもたくさんありますが、先輩や仲間、家族とのつながりを力にして、今日も明日も、一步一步、力強く前に進んでいます。この広報紙を手にしているあなたも、きっと庄内で暮らすことを選んだ一人でしょう。そしてその選択は、これまでにきっと誰かを幸せにし、誰かの背中を押してきたはず。本特集では、庄内町で働く若者にクローズアップし、地元で働く魅力を語っていただくとともに、地元で生きることを一緒に考えていきます。

【庄内町企業ガイダンス】

10/21(水)庄内町総合体育館で開催決定！

学生および保護者、UIターン希望者、一般求職者向けに、町内企業が参加する企業ガイダンスを開催します。

■問合せ：
商工観光課商工労働係 ☎0234-42-0138



△町HP



△山形県就職情報サイト



△庄内地域企業情報



受付
INFORMATION
(株)マルハチ
い く あ
今野 育愛さん

「山形が誇る漬物文化と新しい漬物
心をこめてお届けしています。」

―地元就職したきっかけを教えてください―
小さい頃から食べていた漬物を製造販売している企業が地元庄内にあることを知り、しかも全国のスーパーに展開

今野さんは酒田市出身・酒田市在住の19歳。入社2年目で受付、電話対応、商品の受発注業務などマルチにこなし、明るい笑顔と柔らかい雰囲気でお客様と先輩を和ませています。

―どんな仕事をしていますか？―
主に、日本全国から漬物の注文を受注し、それをお客様の元へ確実に出荷するための



社内には色々な部署があり、社員も100人を超え多いのでたくさんの人と関わることができて楽しいです。私は営業部の営業管理課所属な

―仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？―
商品とお客様をおつなぎする立場のため、電話で「この漬物が好きで何個も買っています」「おいしくて、また買います」「この商品が大好きです」など直接言葉をいただいた時はうれしく、とてもやりがいを感じます。

―都会へのあこがれはありますか？―
希望した休みを取りやすい職場なので、休みの日に東京などを旅行することができ、丁度よく都会を楽しめています。

―社内の祭りに合わせて花火打ち上げを予定しているそうですね？―
マルハチでは社員向け行事に合わせて、地域のみなさまを元気にしたいという願いを込めて打ち上げ花火を実施します。今年は、創業者阿部八十八にちなみ令和8年8月8日午後8時に打ち上げます。特設会場ではなく、ささやかですがお楽しみください。

DATA



株式会社 マルハチ
廿六木字五反田75-1

1914年3月創業。契約栽培で育てた山形特産のあつみかぶの漬物や、山形の家庭料理「だし」を商品化して全国各地に販売する漬物メーカー。これまでに山形県漬物展示品評会などで農林水産大臣賞ほか多数の賞を受賞し、数々のヒット商品を生み出し続けている。

が売られているのを見かけると誇らしく思います。



(社福)立川厚生会 山水園
かな
吉宮 佳那さん

「新しい自分と出会えた。
私がやさしくなれる場所です。」

吉宮さんは庄内町生まれ仙台育ちの25歳。生まれ故郷の庄内町に移り住み、介護職員として働いています。利用者の笑顔のため、努力を惜しまない頑張り屋さんです。

―長く仙台市にお住まいでしたが、庄内町で働くことを決めたんですね―

私は生後半年ほどで仙台市に引越しました。その後はずっと仙台に住んでいて、時々庄内町に帰省していまし

た。前職は仙台で医療事務をしていましたが、自然が広がる場所で新しい自分と出会いたいと思い、生まれ故郷の庄内町で暮らすことを決めました。仕事を探すなかで、山水園の職場見学に参加したところ、職員の皆さんのやさしさと温かさに触れたことが就職先を決めた理由です。母も介護の仕事をしていたこともあり、介護職場は小さい頃から、私にとって身近に感じていたこともあります。

―どんな仕事をしていますか？―

特別養護老人ホームで入所者の食事介助、排泄介助、リハビリ活動、生活介助全般を行っています。勤務は夜勤もあり、最初は生活リズムを作るのが大変でしたが今はだいぶ慣れました。

―仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？―

利用者様から「ありがとう」と言われたり、介助しているなかで笑顔が見られた時はうれしいですし、頑張つて良かったと思います。あと、スタッフが一丸となって上手くコミュニケーションを取りながら、スムーズに仕事のできた時や、職員同士の



「ありがとう」など声かけが盛んな時に仕事をする活力がわいてきます。

―庄内町で働いてよかったことは何ですか？―
地方ならではの方言を学べて楽しいです。育ちが仙台なので、庄内弁がさっぱり分からず初めは何を言っているのか会話に困りました(笑)。今では親しみやすいよう庄内弁で利用者様に声かけができるようになりました。まんずすごいんです(笑)。

職場の皆さんは自分より歳が離れた先輩が多いため、年代を超えたコミュニケーションができて楽しいですね。昭和の話だったり、令和の話だったり多種多様です。スタッフはみんな仲が良く、失敗してもチームでフォローしてくれます。

―これから就活するみなさんに一言お願いします。―

社会に出たら楽しいことだけでなく、辛いことや、乗り越えなければならぬことがたくさん出てくると思います。私もいろいろな経験しましたが、仕事を選び、暮らす場所を探し、やり直してこま

DATA



特別養護老人ホーム 山水園
狩川字笠山433-3

1986年4月事業開始。1991年に増床し、入所定員80名、短期入所20名に。「地域のみなさまから愛される施設」をモットーにデイサービス、居宅介護支援事業所などを展開。まごころを込めたサービス提供、高齢者自立支援、地域社会への貢献を基本理念に、地域の介護を支えている。

夢をかなえてほしいと思います。

介護は正解が見つけるのが難しい仕事ですが、私自身、介護レベルを上げ、利用者様のできることを伸ばしてあげたいと思います。